

弾性着衣の着用方法

-下肢-

大阪医科大学附属病院

TEL (072) 683-1221 (代表)



<弾性着衣の着用方法>

つま先付きの弾性着衣の場合



- ① ストッキングに手を通し、踵より上の部分を裏返す。



- ② 親指を通した状態で、踵まで入れ、裏地を摘まみながら膝下まで少しずつ上げる。

つま先なしの弾性着衣の場合

※足先カバーを使用することで、着用しやすくなります。



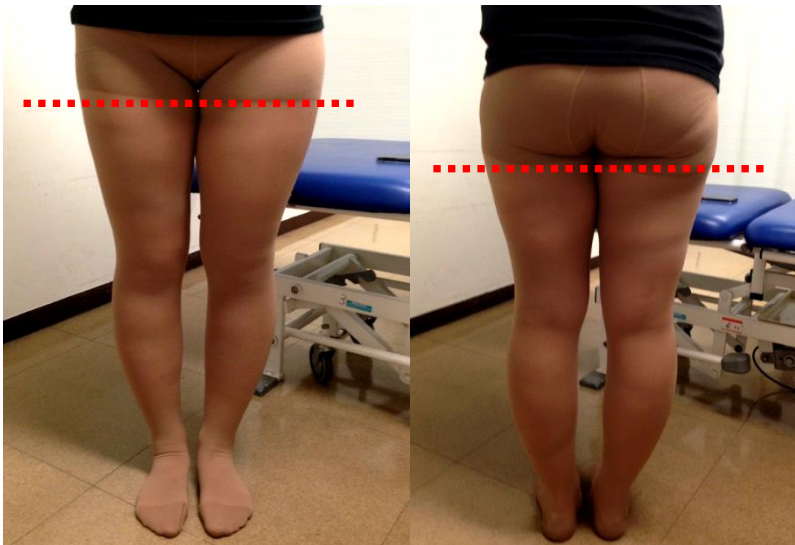
足先カバーを装着後、つま先付きの弾性着衣と同様の方法で、膝下まで上げる。足先カバーは弾性着衣をめくり、抜き取る。



- ③ 膝上は立った状態で
摘まみ上げる。



- ④ ゴム手袋を使って
しわを伸ばしていく。



- ⑤ 履き終わり

Check ポイント！！

- ① 弾性着衣のしわの有無を確認する。
- ② 太ももとお尻の繋ぎ目部分の歪みがないかを確認する。
(上図の点線部分)
- ③ 踵のずれの有無を確認する。
- ④ 足先のしびれや冷感、爪の色調変化
(紫になっていないか) の有無を確認する。

<弾性着衣の取り扱い方法>

- ▶ 洗濯は手洗い（押し洗い）で行いましょう。
- ▶ 柔軟剤・漂白剤・乾燥機の使用は避けましょう。
（ストッキングの劣化に繋がるため）
- ▶ 干す時は、直射日光・ハンガーなどにかけることを避け、
蛇行・平干しにしましょう。

<弾性着衣の買い換え時期>

- ▶ 基本的には6ヶ月毎に買い換えとなります。
- ▶ 以下の場合には買い換えの検討が必要です。
 - ① 着用時にずれやすい
 - ② 食い込みを認める
 - ③ 着用時に痛みが出る
 - ④ 亀裂や解れを認める

※療養費の申請期限外の場合は自費での購入となります。

<療養費の申請について>

- **リンパ節郭清を伴う手術後**に発生する下肢リンパ浮腫に対し、医師の処方箋があれば保険適応で購入することができます。
- 支給頻度： **6ヶ月に1回**
- 支給枚数： 弾性着衣：2着を限度
(原則 **30mmHg 以上**の圧迫力のもの)
- 支給申請費用：弾性着衣：1着あたり上限 28,000 円
- 必要書類：装着指示書・領収書（保険所に提出）

※30mmHg 以上の圧迫が困難な場合や、医師の判断により特別な指示がある場合は、30mmHg 未満の圧迫圧でも申請が可能となります（指示書の特記事項に記載が必要）。

※払い戻しには2週間～1ヶ月程度時間がかかります。
(保険者によって異なります。)

申請手続きは、全額支払い後に①**装着指示書**と②**領収書**を保険者（市役所・社会保険事務所・健康保険組合等）へ持参し、本人申請が基本となる。

※装着指示書、領収書のコピーを保管するようにしてください。